



**We Find the Way**

**2021年12月期 第2四半期決算説明会資料**

2021年11月12日

日本通運 株式会社

経営企画部 IR推進室

## I .2021年12月期 第2四半期 業績(プロフォーマベース)

決算期変更について (プロフォーマベース)	P.3
A. 2021年12月期 実績	P.4-
B. 2021年12月期 7月~9月実績	P.6
C. 日本・海外別実績	P.7
D. セグメント別実績	P.8-
D. 参考：セグメント別実績比較	P.11
E. 売上高・営業利益増減内訳	P.12-
(参考資料) 個別日本発航空輸出事業の収益性推移	P.14

## II .2021年12月期 業績予想(プロフォーマベース)

A. 2021年12月期通期予想	P.16-
B. 日本・海外別予想	P.18
C. セグメント別予想	P.19
D. 売上高・営業利益増減内訳	P.20-
E. 2021年12月期 セグメント概況	P.22-

## III . 経営計画の取り組み(進捗)

A. 日通グループ経営計画2023 KPI <コア事業の成長戦略>	P.31
B. 事業別売上高動向	P.32
B. 日本事業の強靱化戦略	P.33
C. 間接部門コスト削減 進捗状況 (2021年9月末時点)	P.34-
C. RPAの推進について	P.36
C. ESG経営	P.37
D. ホールディングス体制への移行	P.38
E. 非連続な成長戦略	P.38
F. 持続的成長と企業価値向上のためのESG経営の確立	P.38

## IV . 株主還元

A. 資本政策	B. 各種実績推移	P.39
---------	-----------	------

# I. 2021年12月期 第2四半期 業績 (プロフォーマベース)

# Ⅰ. 2021年12月期（プロフォーマベース）

## 決算期変更について

決算期変更に伴い、連結損益計算書は、財務報告(短信ベース)ならびに、12ヶ月換算ベース(\*見積)を補足的に開示致します。

\*2021年の業績予想数値は、過去の消去率を使用する等の簡易的な方法により試算しております。  
また、監査を予定しない参考数値となります。

## ■ 12ヶ月換算ベース

国内事業： 2020年度 1～12月(12ヶ月)、 2021年度 1～12月(12ヶ月)、 2022年度 1～12月(12ヶ月)  
海外事業： 2020年度 1～12月(12ヶ月)、 2021年度 1～12月(12ヶ月)、 2022年度 1～12月(12ヶ月)

	2020年				2021年				2022年			
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
国内事業	2020年度				2021年度				2022年度			
海外事業												

## ■ 2021年12月期 1月～9月業績

\*以下プロフォーマベースの対象期間は下記の通りです。

国内事業： 2020年 1～9月(9ヶ月)、2021年 1～9月(9ヶ月)  
海外事業： 2020年 1～9月(9ヶ月)、2021年 1～9月(9ヶ月)

# I. 2021年12月期 第2四半期（プロフォーマベース）

## A 2021年12月期 1月～9月実績

### 概要（連結）

（単位：億円、％）

項目	今期実績 (2021年1月～9月)	前年実績 (2020年1月～9月)	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)
売上高	16,781	14,797	1,984	13.4
営業利益	646	372	274	73.7
営業利益率	3.9	2.5	—	—
経常利益	680	330	349	105.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	427	241	185	77.0
海外売上高	4,583	3,054	1,529	50.1

\* 2021年1月～3月の海外セグメント当期純利益は、決算期変更に伴い利益剰余金として68億円、取り込んでおります。

（億円未満切捨て）

# I. 2021年12月期 第2四半期（プロフォーマベース）

## A 2021年12月期 4月～9月実績

### 概要（連結）

（単位：億円、％）

項目	今期実績 (2021年 4月～9月)	前年実績 (2020年 4月～9月)	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)	2021年4月～9月 予想 (前回発表)	増減額 (増減率)
売上高	11,042	9,725	1,317	13.5	10,900	142 (1.3)
営業利益	363	224	138	61.8	360	3 (0.8)
営業利益率	3.3	2.3	—	—	3.3	— (—)
経常利益	406	255	150	59.0	380	26 (7.0)
親会社株主に帰属する 当期純利益	306	224	81	36.2	250	56 (22.5)
海外売上高	3,165	2,089	1,076	51.5	2,896	269 (9.3)

（億円未満切捨て）

# I. 2021年12月期 第2四半期（プロフォーマベース）

## B 2021年12月期 7月～9月実績

### 概要（連結）

（単位：億円、％）

項目	今期実績 (2021年7月～9月)	前年実績 (2020年7月～9月)	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)
売上高	5,591	4,965	626	12.6
営業利益	161	154	7	4.8
営業利益率	2.9	3.1	—	—
経常利益	171	169	2	1.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	154	125	29	23.3
海外売上高	1,686	1,073	613	57.1

（億円未満切捨て）

# I. 2021年12月期 第2四半期（プロフォーマベース）

（単位：億円、％）

## C 日本・海外別実績（調整額含まず）

セグメント	項目	今期実績 (2021年1月～9月)	前年実績 (2020年1月～9月)	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)
日本計	売上高	13,548	12,749	798	6.3
	セグメント利益	502	369	133	36.1
海外計	売上高	4,583	3,054	1,529	50.1
	セグメント利益	245	118	126	106.1

（億円未満切捨て）

海外売上高比率

27.3%



# I. 2021年12月期 第2四半期（プロフォーマベース）

（単位：億円、％）

## D セグメント別実績（1月～9月）

セグメント	項目	今期実績 (2021年1月～9月)	前年実績 (2020年1月～9月)	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)
日本	売上高	9,805	8,561	1,244	14.5
	セグメント利益	372	242	129	53.4
米州	売上高	783	560	222	39.8
	セグメント利益	46	△0	47	—
欧州	売上高	1,118	822	296	36.0
	セグメント利益	44	14	30	201.7
東アジア	売上高	1,471	884	586	66.3
	セグメント利益	56	45	11	24.9
南アジア・ オセアニア	売上高	1,209	786	423	53.8
	セグメント利益	96	59	37	62.4
警備輸送	売上高	516	522	△5	△1.1
	セグメント利益	△1	△4	3	—
重量品建設	売上高	333	359	△26	△7.2
	セグメント利益	40	39	1	2.7
物流 サポート	売上高	2,891	3,306	△414	△12.5
	セグメント利益	92	92	△0	△0.4

（億円未満切捨て）

# I. 2021年12月期 第2四半期（プロフォーマベース）

（単位：億円、％）

## D セグメント別実績（4月～9月）

セグメント	項目	今期実績 (2021年4月～ 9月)	前年実績 (2020年4月～ 9月)	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)	2021年4月～9月 予想 (前回発表)	増減額
日本	売上高	6,506	5,610	895	16.0	6,411	95
	セグメント利益	205	138	67	48.6	221	△15
米州	売上高	552	354	197	55.7	557	△4
	セグメント利益	34	△0	35	—	32	2
欧州	売上高	793	547	245	44.8	696	97
	セグメント利益	32	12	19	160.6	28	4
東アジア	売上高	1,004	618	385	62.3	895	109
	セグメント利益	22	39	△17	△42.6	30	△7
南アジア・ オセアニア	売上高	815	567	247	43.6	748	67
	セグメント利益	59	52	7	14.3	56	3
警備輸送	売上高	342	343	△0	△0.2	343	△0
	セグメント利益	1	△9	10	—	6	△4
重量品建設	売上高	238	250	△12	△4.9	254	△15
	セグメント利益	30	28	2	9.1	28	2
物流 サポート	売上高	1,628	2,076	△447	△21.6	1,650	△21
	セグメント利益	40	53	△13	△25.2	36	4

（億円未満切捨て）

# I. 2021年12月期 第2四半期（プロフォーマベース）

（単位：億円、％）

## D セグメント別実績（7月～9月）

セグメント	項目	今期実績 (2021年7月～9月)	前年実績 (2020年7月～9月)	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)
日本	売上高	3,240	2,877	362	12.6
	セグメント利益	89	114	△24	△21.7
米州	売上高	285	187	98	52.3
	セグメント利益	14	△0	15	—
欧州	売上高	425	300	125	41.7
	セグメント利益	15	10	5	50.1
東アジア	売上高	544	291	253	86.7
	セグメント利益	5	16	△11	△67.5
南アジア・ オセアニア	売上高	431	294	136	46.4
	セグメント利益	30	27	2	9.7
警備輸送	売上高	171	173	△2	△1.4
	セグメント利益	0	△0	1	—
重量品建設	売上高	114	119	△4	△3.7
	セグメント利益	14	12	1	15.2
物流 サポート	売上高	830	1,058	△227	△21.5
	セグメント利益	22	26	△3	△13.4

（億円未満切捨て）

# I. 2021年12月期 第2四半期（プロフォーマベース）

## ※参考資料(四半期推移)

(単位:億円、%)

### D 参考:セグメント別実績比較(2021年4月～6月VS2021年7月～9月)

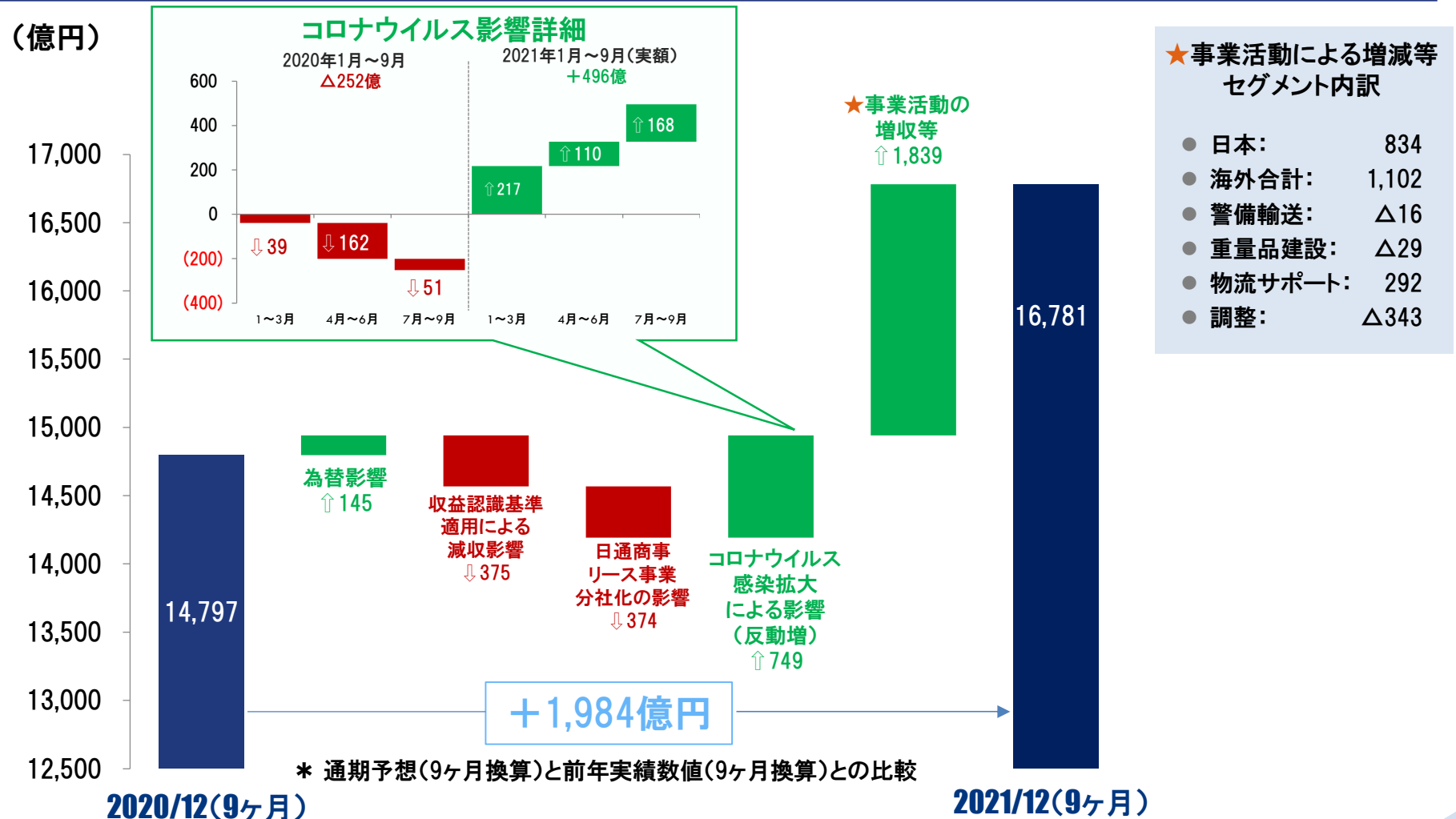
セグメント	項目	今期実績 (2021年7月～9月)	今期実績 (2021年4月～6月)	増減額 (前期比)	増減率 (前期比)
日本	売上高	3,240	3,266	△26	△0.8
	セグメント利益	89	115	△25	△22.4
米州	売上高	285	267	17	6.7
	セグメント利益	14	19	△4	△23.1
欧州	売上高	425	367	57	15.7
	セグメント利益	15	17	△1	△11.2
東アジア	売上高	544	459	84	18.5
	セグメント利益	5	17	△12	△68.7
南アジア・ オセアニア	売上高	431	383	47	12.3
	セグメント利益	30	29	0	2.5
警備輸送	売上高	171	171	0	0.2
	セグメント利益	0	0	△0	△25.4
重量品建設	売上高	114	123	△8	△7.2
	セグメント利益	14	16	△1	△9.4
物流 サポート	売上高	830	797	33	4.2
	セグメント利益	22	17	4	28.2

(億円未満切捨て)

# I. 2021年12月期 第2四半期（プロフォーマベース）

## E 売上高・営業利益増減内訳 \* 期間を1月～9月として国内・海外計の9ヶ月前同比較

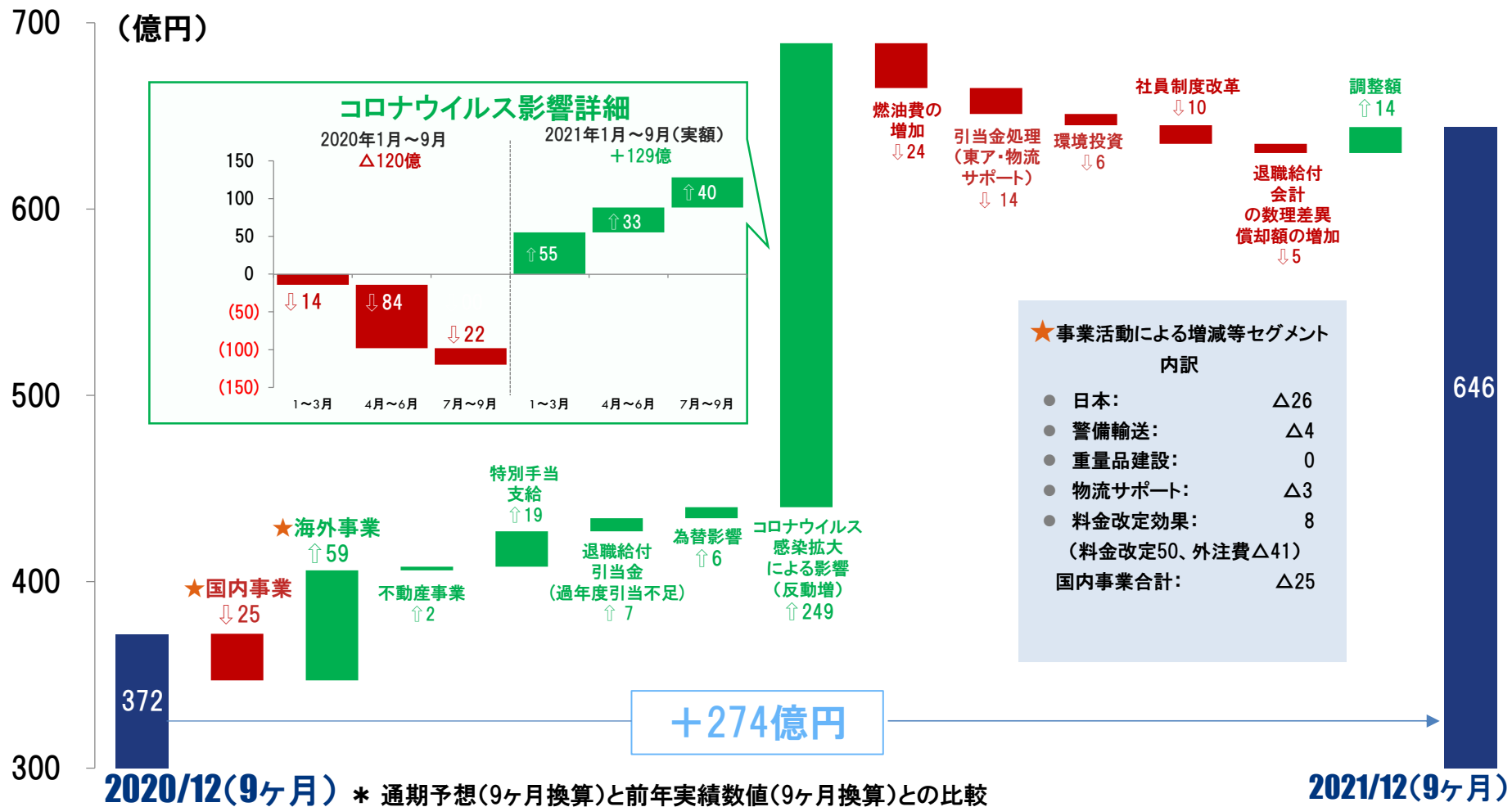
### 1. 売上高



# I. 2021年12月期 第2四半期（プロフォーマベース）

## E 売上高・営業利益増減内訳 \* 期間を1月～9月として国内・海外計の9ヶ月前同比較

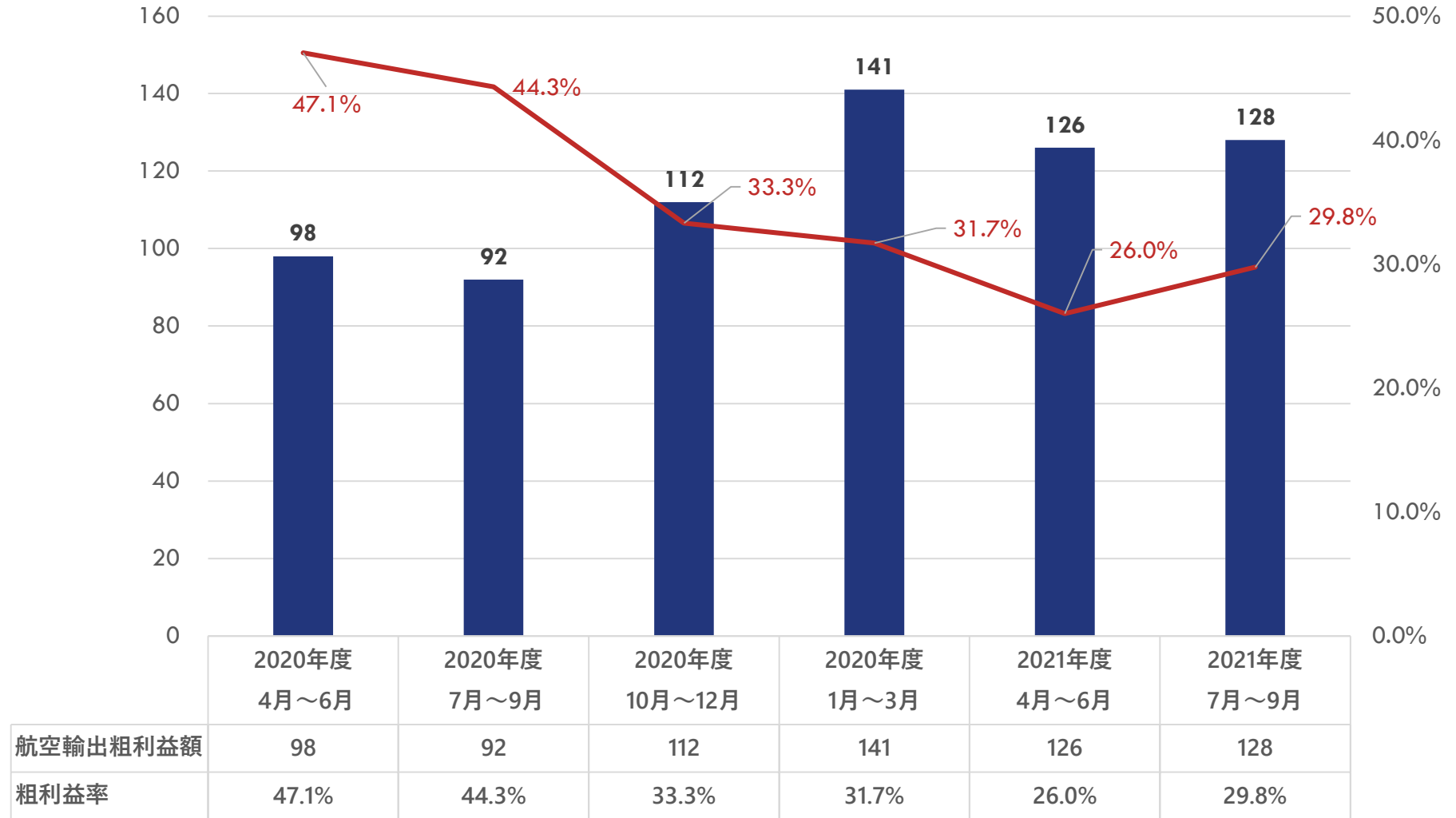
### 2. 営業利益



## (参考資料) 個別日本発航空輸出事業の粗利と粗利率推移 (四半期単位)

※航空輸出粗利益額 : 「航空輸出売上高」から「航空利用費」を除いた額  
 粗利益率 : 「航空輸出売上高」に対する「航空輸出粗利益額」の割合

(単位:億円、%)



■ 航空輸出粗利益額

— 粗利益率

(億円未満切捨て)

## II. 2021年12月期 業績予想 (プロフォーマベース)



## II 2021年12月期 業績予想 プロフォーマベース

(単位:億円、%)

### A 2021年12月期通期予想(期間:2021年1月~12月)

項目	今期予想 (11/12発表)	2020/12期 実績	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)	前回予想 (8/13発表)	増減額 (増減率)
売上高	22,538	20,522	2,016	9.8	22,238	300 (1.3)
営業利益	853	729	123	17.0	843	10 (1.2)
営業利益率	3.8	3.6	—	—	3.8	—
経常利益	863	692	171	24.8	853	10 (1.2)
親会社株主に帰属する 当期純利益	571	503	67	13.4	511	60 (11.7)
海外売上高	6,229	4,537	1,692	37.3	5,672	557

項目	2021/12 1月~6月実績	2021/12 7月~12月予想
売上高	11,189	11,349
営業利益 (営業利益率)	484 (4.3)	368 (3.2)

\* 通期予想(12ヶ月換算)と前年実績数値(12ヶ月換算)との比較

\* 2021年1月~3月の海外セグメント当期純利益は、決算期変更に伴い利益剰余金として68億円、取り込んでおります。

(億円未満切捨て)

## II 2021年12月期 業績予想 プロフォーマベース

(単位:億円、%)

### A 2021年12月期通期予想(期間:2021年4月~12月)

項目	今期予想 2021年4月~12月 (11/12発表)	2020年 4月~12月 実績	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)	前回予想 (8/13発表)	差額
売上高	16,800	15,450	1,349	8.7	16,500	300
営業利益	570	581	△11	△2.0	560	10
営業利益率	3.4	3.8	—	—	3.4	—
経常利益	590	617	△27	△4.5	580	10
親会社株主に帰属する 当期純利益	450	486	△36	△7.5	390	60
海外売上高	4,812	3,572	1,239	34.7	4,255	557

(億円未満切捨て)

## II 2021年12月期 業績予想 プロフォーマベース

(単位:億円、%)

### B 日本・海外別予想 (調整額含まず)

セグメント	項目	今期実績 (2021年1月~12月)	前年実績 (2020年1月~12月)	増減額 (前年比)	増減率 (前年比)
日本計	売上高	18,021	17,393	627	3.6
	セグメント利益	678	632	45	7.2
海外計	売上高	6,229	4,537	1,692	37.3
	セグメント利益	319	222	97	43.9

(億円未満切捨て)

海外売上高比率

27.6%

## II 2021年12月期 業績予想 プロフォーマベース

(単位:億円、%)

### C セグメント別予想

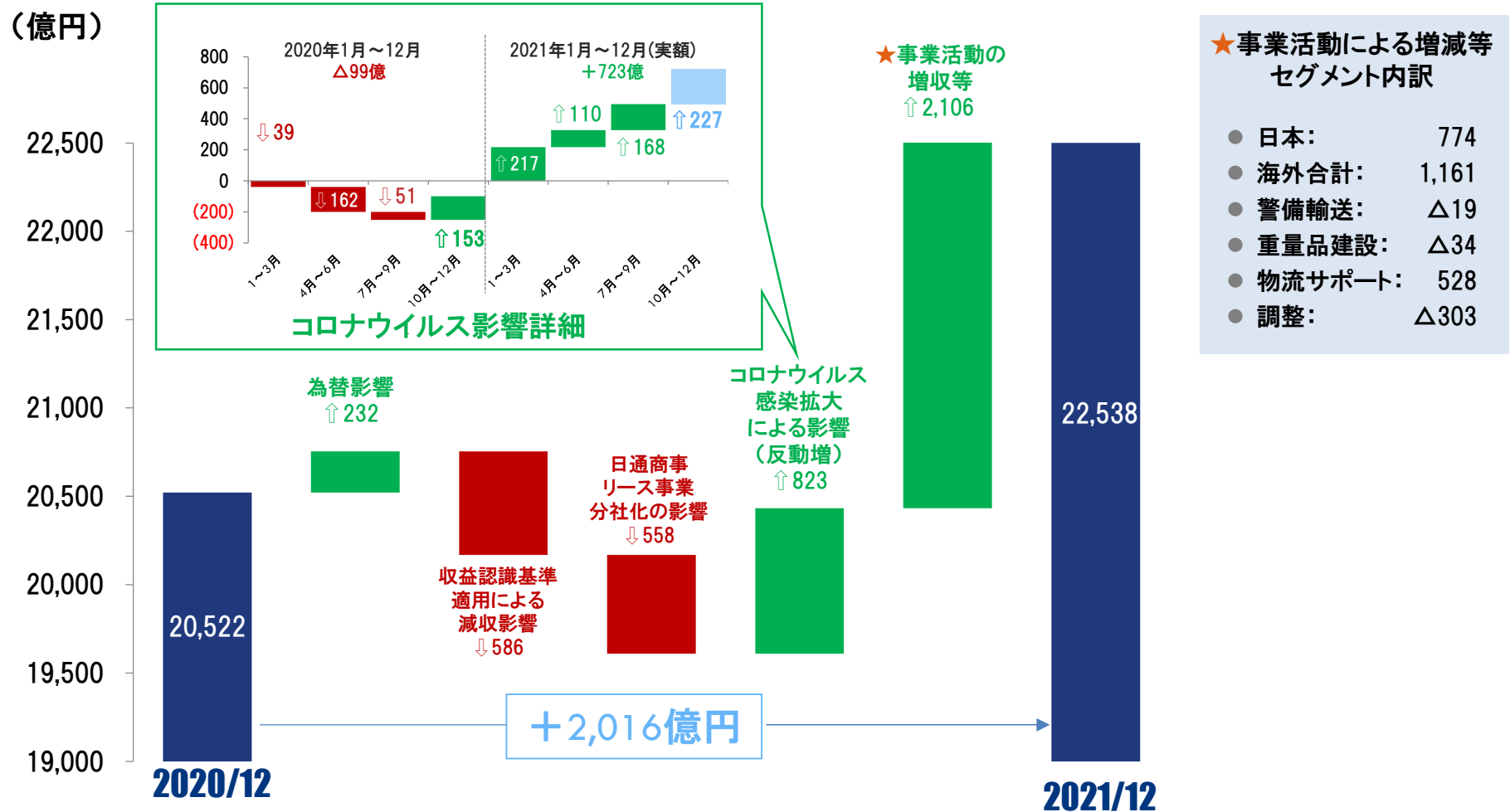
セグメント	項目	上期実績 (1月~6月)	下期予想(7月~12月)			通期予想(1月~12月)				
			2021/12 今回予想	2020/12 前年実績	増減額	2021/12 今回予想	2020/12 前年実績	増減額	2021/12 前回予想	増減額
日本	売上高	6,565	6,453	6,095	358	13,019	11,779	1,240	13,003	16
	セグメント利益	282	231	329	△98	513	457	56	542	△29
米州	売上高	497	598	408	190	1,096	781	315	1,073	23
	セグメント利益	32	35	5	30	67	4	62	54	13
欧州	売上高	693	766	649	117	1,459	1,171	288	1,370	89
	セグメント利益	29	26	29	△2	56	34	22	56	0
東アジア	売上高	926	1,122	843	278	2,048	1,436	611	1,769	279
	セグメント利益	50	21	56	△34	72	84	△12	76	△4
南アジア・ オセアニア	売上高	778	846	655	190	1,624	1,147	477	1,458	166
	セグメント利益	66	56	66	△10	122	98	24	110	12
警備輸送	売上高	345	343	348	△4	689	697	△7	689	0
	セグメント利益	△2	3	2	0	0	△1	2	4	△4
重量品 建設	売上高	219	226	231	△5	445	472	△27	465	△20
	セグメント利益	25	26	26	△0	52	53	△0	52	0
物流 サポート	売上高	2,060	1,806	2,197	△390	3,867	4,444	△577	3,825	42
	セグメント利益	69	41	56	△15	110	123	△12	110	0

(億円未満切捨て)

# II 2021年12月期 業績予想 プロフォーマベース

## D 売上高・営業利益増減内訳 \* 期間を1月～12月として国内・海外計の12ヶ月前同比較

### ①. 売上高

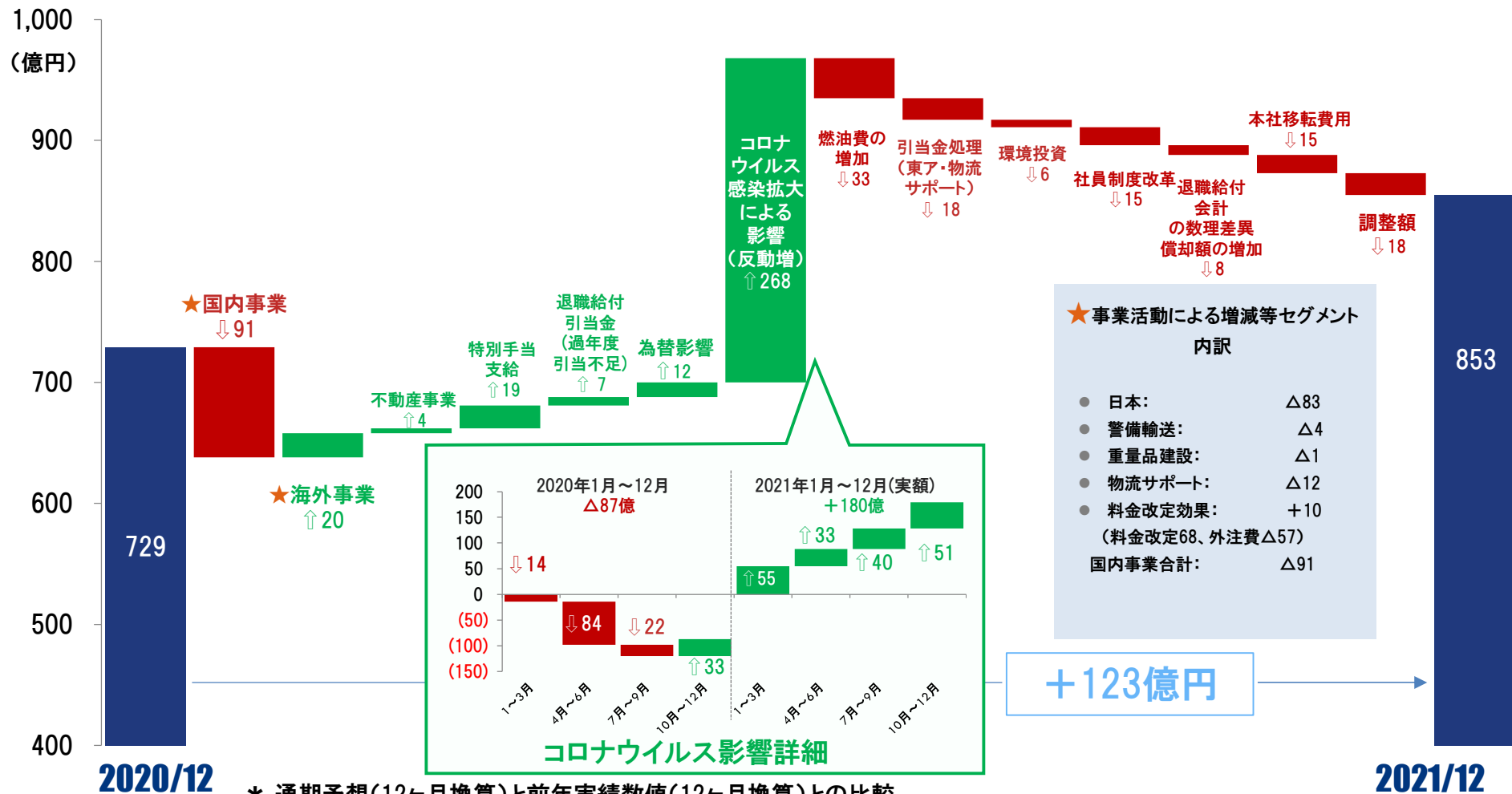


\* 通期予想(12ヶ月換算)と前年実績数値(12ヶ月換算)との比較

# II 2021年12月期 業績予想 プロフォーマベース

## D 売上高・営業利益増減内訳 \* 期間を1月～12月として国内・海外計の12ヶ月前同比較

### ②. 営業利益



\* 通期予想(12ヶ月換算)と前年実績数値(12ヶ月換算)との比較

# II-E 2021年12月期 セグメント概況

## 1. 日本セグメント

(単位:億円、%)

### 1 単四半期実績

項目	2021/12期 7月~9月 実績	前年同期対比		
		2020/12期	増減額	増減率
売上高	3,240	2,877	362	12.6
営業利益	89	114	△24	△21.7
営業利益率	2.8	4.0	—	—

2021年7月~9月概況	
<p>鉄道・自動車事業は、緊急事態宣言延長の影響から荷動きは低調に推移した。鉄道事業では、8月の集中豪雨と、9月の自動車産業の減産による影響を受け大幅な減収となった。自動車事業では、農産品の収量が例年に比べ減少、飲料も低調な推移となった。一方、航空輸出事業は、自動車関連、電機・電子、半導体関連を中心に貨物需要は前同を上回るペースで推移した。航空・海運輸出共に需給は逼迫し、高水準な運賃単価が継続、売上高は大幅に伸長し利益を確保したが、国内物流の回復は鈍くまた燃油費高騰の影響を受け減益となった。</p>	

### 2 単四半期実績・予想

項目	2021/12期 実績・見通し						
	1月~3月	4月~6月	上期	7月~9月	10月~12月	下期予想	通期予想
売上高	3,299	3,266	6,565	3,240	3,213	6,453	13,019
営業利益	166	115	282	89	141	231	513
営業利益率	5.1	3.5	4.3	2.8	4.4	3.6	3.9

項目	2020/12期 実績						
	1月~3月	4月~6月	上期	7月~9月	10月~12月	下期	通期
売上高	2,950	2,733	5,683	2,877	3,217	6,095	11,779
営業利益	104	23	128	114	214	329	457
営業利益率	3.5	0.9	2.3	4.0	6.7	5.4	3.9

項目	前年同期対比(上段:増減額 / 下段:増減率)						
	1月~3月	4月~6月	上期	7月~9月	10月~12月	下期	通期
売上高	348	532	881	362	△4	358	1,240
	11.8	19.5	15.5	12.6	△0.1	5.9	10.5
営業利益	62	92	154	△24	△73	△98	56
	59.7	390.0	120.5	△21.7	△34.1	△29.8	12.3

特殊要因	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃油費単価の影響:【営業利益】△20(9ヶ月)、△28(年間)</li> <li>・社員制度改革に伴う費用増:【営業利益】△9(9ヶ月)、△14(年間)</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大の影響: 【売上高】+421(9ヶ月)、+466(年間) 【営業利益】+165(9ヶ月)、+176(年間)</li> <li>・退職給付引当金:【営業利益】+7(4月~6月、年間)</li> <li>・特別手当支給の影響:【営業利益】+15(4月~6月、年間)</li> <li>・環境投資:【営業利益】△6(9ヶ月)、△6(年間)</li> <li>・不動産事業:【営業利益】+2(9ヶ月)、+4(年間)</li> <li>・新本社移転費用:【営業利益】△15(年間)</li> <li>・収益認識基準の影響:【売上高】△11(9ヶ月)、△0(年間)</li> <li>・退職給付数理差異影響:【営業利益】△4(9ヶ月)、△6(年間)</li> </ul>	

### 3 業績予想推移

項目	通期業績予想比較		
	今回予想	前回予想	増減額
売上高	13,019	13,003	16
営業利益	513	542	△29
	3.9	4.2	—

2021年10月~12月見通し	
<p>高水準の運賃単価が継続、海運事業の正常化には時間を要する見込み。航空輸出事業は、クリスマス商戦の旺盛な需要が継続する見通し。鉄道、自動車といった国内物流は、緊急事態宣言の解除後も前年の扱いを割り込み、低調に推移する見通し。売上高は前年並み、営業利益は燃油価格高騰の影響と昨年のスポット業務反動減の影響により減益を見通す。</p>	

# II-E 2021年12月期 セグメント概況

## 2. 米州セグメント

(単位:億円、%)

**1**  
単四半期実績

項目	2021/12期 7月~9月 実績	前年同期対比		
		2020/12期	増減額	増減率
売上高	285	187	98	52.3
営業利益	14	△0	15	—
営業利益率	5.2	△0.1	—	—

2021年7月~9月概況	
航空事業は輸出入ともに自動車関連が伸長、海運事業も取扱いが増加した。米西海岸の港湾混雑により米州各地への転送需要が増加し売上高は増収となった。倉庫配送では、前四半期から開始した衣料関連業務に加え、昨年買収したMDL社の取扱いが寄与した。前四半期に好調であった生鮮食品の取扱いは落ち着いたものの、売上高は増収、営業利益は増益となった。	

**2**  
単四半期実績・予想

項目	2021/12期実績・見通し						
	1月~3月	4月~6月	上期	7月~9月	10月~12月	下期予想	通期予想
売上高	230	267	497	285	313	598	1,096
営業利益	12	19	32	14	20	35	67
営業利益率	5.4	7.3	6.4	5.2	6.6	5.9	6.2

項目	2020/12期 実績						
	1月~3月	4月~6月	上期	7月~9月	10月~12月	下期	通期
売上高	205	167	373	187	221	408	781
営業利益	△0	△0	△0	△0	5	5	4
営業利益率	△0.0	△0.2	△0.1	△0.1	2.5	1.3	0.6

項目	前年同期対比(上段:増減額 / 下段:増減率)						
	1月~3月	4月~6月	上期	7月~9月	10月~12月	下期	通期
売上高	25	99	124	98	92	190	315
	12.2	59.5	33.4	52.3	41.8	46.7	40.3
営業利益	12	19	32	15	15	30	62
	—	—	—	—	273.3	566.8	—

特殊要因
<ul style="list-style-type: none"> <li>・為替影響(円安): 【売上高】+4(9ヶ月)、+18(年間) 【営業利益】+0(9ヶ月)、+0(年間)</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大の影響: 【売上高】+48(9ヶ月)、+62(年間) 【営業利益】+19(9ヶ月)、+24(年間)</li> <li>・特別手当支給:【営業利益】+0(4月~6月、年間)</li> </ul>

**3**  
業績予想推移

項目	通期業績予想比較		
	今回予想	前回予想	増減額
売上高	1,096	1,073	23
営業利益	67	54	13
	6.2	5.1	—

2021年10月~12月見通し
クリスマス商戦で取扱い数量は増加の見通し。航空・海上輸出の運賃単価は、高止まりが継続、第2四半期より開始した衣料関連倉庫配送業務の増収効果により、対前年増収・増益を見通す。



# II-E 2021年12月期 セグメント概況

## 3. 欧州セグメント

(単位: 億円、%)

### 1 単四半期実績

項目	2021/12期 7月~9月 実績	前年同期対比		
		2020/12期	増減額	増減率
売上高	425	300	125	41.7
営業利益	15	10	5	50.1
営業利益率	3.5	3.4	—	—

2021年7月~9月概況
航空事業は自動車関連や電子部品関連等の輸出が堅調に推移、前四半期に続きイタリア発、米国向けファッション関連の取扱も寄与し、前年から大きく増収となった。昨年からの取り組みを進めたコスト削減施策の効果もあり、営業利益は増益となった。

### 2 単四半期実績・予想

項目	2021/12期実績・見通し						
	1月~3月	4月~6月	上期	7月~9月	10月~12月	下期予想	通期予想
売上高	325	367	693	425	340	766	1,459
営業利益	12	17	29	15	11	26	56
営業利益率	4.0	4.6	4.3	3.5	3.5	3.5	3.9

項目	2020/12期 実績						
	1月~3月	4月~6月	上期	7月~9月	10月~12月	下期	通期
売上高	274	247	522	300	348	649	1,171
営業利益	2	2	4	10	19	29	34
営業利益率	0.9	0.9	0.9	3.4	5.5	4.5	2.9

項目	前年同期対比(上段:増減額 / 下段:増減率)						
	1月~3月	4月~6月	上期	7月~9月	10月~12月	下期	通期
売上高	50	119	170	125	△8	117	288
	18.6	48.4	32.7	41.7	△2.3	18.0	24.6
営業利益	10	14	25	5	△7	△2	22
	397.0	652.7	516.1	50.1	△37.8	△7.5	67.0

特殊要因
<ul style="list-style-type: none"> <li>為替影響(円安): 【売上高】+58(9ヶ月)、+75(年間) 【営業利益】+1(9ヶ月)、+2(年間)</li> <li>新型コロナウイルス感染拡大の影響: 【売上高】+131(9ヶ月)、+150(年間) 【営業利益】+41(9ヶ月)、+46(年間)</li> <li>特別手当支給:【営業利益】+0(4月~6月、年間)</li> </ul>

### 3 業績予想推移

項目	通期業績予想比較		
	今回予想	前回予想	増減額
売上高	1,459	1,370	89
営業利益	56	56	0
営業利益率	3.9	4.1	—

2021年10月~12月見通し
航空事業は、自動車関連・ファッション関連が堅調に推移、売上高は前年並みを見通す。昨年のスポット輸入業務反動減の影響により営業利益は減益を見通す。

# II-E 2021年12月期 セグメント概況

## 4. 東アジアセグメント

(単位:億円、%)

### 1 単四半期実績

項目	2021/12期 7月~9月 実績	前年同期対比		
		2020/12期	増減額	増減率
売上高	544	291	253	86.7
営業利益	5	16	△11	△67.5
営業利益率	1.0	5.8	—	—

2021年7月~9月概況	
航空事業は、自動車・医療・電子部品関連の荷動きが堅調に推移、海運事業は、海上コンテナ不足による運賃上昇により、航空・海運事業共に売上高は対前年で大幅に増収となった。営業利益では、利用費高騰の影響により費用増となったことに加え、中国での海運扱いにおいて不良債権発生に伴う引当金処理を行ったことから減益となった。	

### 2 単四半期実績・予想

項目	2021/12期実績・見通し						
	1月~3月	4月~6月	上期	7月~9月	10月~12月	下期予想	通期予想
売上高	466	459	926	544	577	1,122	2,048
営業利益	33	17	50	5	16	21	72
営業利益率	7.1	3.8	5.5	1.0	2.8	1.9	3.5

項目	2020/12期 実績						
	1月~3月	4月~6月	上期	7月~9月	10月~12月	下期	通期
売上高	265	327	592	291	552	843	1,436
営業利益	5	23	28	16	39	56	84
営業利益率	1.9	7.1	4.8	5.8	7.1	6.7	5.9

項目	前年同期対比(上段:増減額 / 下段:増減率)						
	1月~3月	4月~6月	上期	7月~9月	10月~12月	下期	通期
売上高	200	132	333	253	25	278	611
	75.6	40.6	56.3	86.7	4.5	33.0	42.6
営業利益	28	△5	22	△11	△23	△34	△12
	560.8	△24.5	80.0	△67.5	△59.3	△61.8	△14.4

特殊要因
<ul style="list-style-type: none"> <li>為替影響(円安): 【売上高】+59(9ヶ月)、+103(年間) 【営業利益】+3(9ヶ月)、+6(年間)</li> <li>新型コロナウイルス感染拡大の影響: 【売上高】+18(9ヶ月)、+32(年間) 【営業利益】△8(9ヶ月)、△7(年間)</li> <li>特別手当支給:【営業利益】+0(4月~6月、年間)</li> <li>引当金処理:【営業利益】△12(9ヶ月)、△12(年間)</li> </ul>

### 3 業績予想推移

項目	通期業績予想比較		
	今回予想	前回予想	増減額
売上高	2,048	1,769	279
営業利益	72	76	△4
営業利益率	3.5	4.3	—

2021年10月~12月見通し
海運事業の取扱い数量は堅調に推移するものの、前期クリスマス商戦の航空輸出反動減の影響が見込まれ、また昨年のコスト削減施策が一巡することもあり、対前年増収・減益を見通す。

# II-E 2021年12月期 セグメント概況

## 5. 南アジア・オセアニアセグメント

(単位:億円、%)

### 1 単四半期実績

項目	2021/12期 7月~9月 実績	前年同期対比		
		2020/12期	増減額	増減率
売上高	431	294	136	46.4
営業利益	30	27	2	9.7
営業利益率	7.0	9.4	—	—

2021年7月~9月概況	
航空・海運共に堅調に推移し、売上高は対前年で大幅に増収となった。マレーシア、フィリピンでは航空輸出事業の仕入単価が上昇。ベトナムでは、ホーチミンでのロックダウンに端を発し、域内サプライチェーンが混乱、自動車関連部材の緊急航空輸送が継続した。売上高は増収、営業利益は増益となった。	

### 2 単四半期実績・予想

項目	2021/12期実績・見通し						
	1月~3月	4月~6月	上期	7月~9月	10月~12月	下期予想	通期予想
売上高	394	383	778	431	414	846	1,624
営業利益	36	29	66	30	26	56	122
営業利益率	9.4	7.7	8.5	7.0	6.3	6.7	7.6

項目	2020/12期 実績						
	1月~3月	4月~6月	上期	7月~9月	10月~12月	下期	通期
売上高	218	273	492	294	360	655	1,147
営業利益	7	24	31	27	39	66	98
営業利益率	3.3	9.1	6.5	9.4	10.8	10.2	8.6

項目	前年同期対比(上段:増減額 / 下段:増減率)						
	1月~3月	4月~6月	上期	7月~9月	10月~12月	下期	通期
売上高	175	110	286	136	53	190	477
	80.4	40.5	58.2	46.4	15.0	29.1	41.6
営業利益	29	4	34	2	△13	△10	24
	412.0	19.6	108.1	9.7	△33.5	△15.6	24.4

特殊要因	
<ul style="list-style-type: none"> <li>為替影響(円安): 【売上高】+23(9ヶ月)、+34(年間) 【営業利益】+1(9ヶ月)、+2(年間)</li> <li>新型コロナウイルス感染拡大の影響: 【売上高】+82(9ヶ月)、+52(年間) 【営業利益】+19(9ヶ月)、+14(年間)</li> <li>特別手当支給:【営業利益】+0(4月~6月、年間)</li> </ul>	

### 3 業績予想推移

項目	通期業績予想比較		
	今回予想	前回予想	増減額
売上高	1,624	1,458	166
営業利益	122	110	12
	7.6	7.6	—

2021年10月~12月見通し	
クリスマス商戦に向け、航空・海運輸出需要共に堅調に推移する見通しだが、航空輸出事業の仕入単価上昇に対し販売単価は下落傾向で推移することが見込まれる。増収、減益を見通す。	

# II-E 2021年12月期 セグメント概況

## 6. 警備輸送セグメント

(単位:億円、%)

### 1 単四半期実績

項目	2021/12期 7月~9月 実績	前年同期対比		
		2020/12期	増減額	増減率
売上高	171	173	△2	△1.4
営業利益	0	△0	1	—
営業利益率	0.3	△0.6	—	—

2021年7月~9月概況	
<p>昨年、コロナウイルス感染拡大の影響を受けた集配金業務は前四半期に続き回復。ビジネスセンター業務の新規獲得や各種業務の料金改定を進めたものの、一部顧客で設定便減便による減収の影響が大きく、売上高は微減となった。営業利益では、前年度決算において減損処理を行ったことから増益となった。</p>	

### 2 単四半期実績・予想

項目	2021/12期実績・見通し						
	1月~3月	4月~6月	上期	7月~9月	10月~12月	下期予想	通期予想
売上高	174	171	345	171	172	343	689
営業利益	△3	0	△2	0	2	3	0
営業利益率	△1.7	0.4	△0.7	0.3	1.6	1.0	0.1

項目	2020/12期 実績						
	1月~3月	4月~6月	上期	7月~9月	10月~12月	下期	通期
売上高	179	169	348	173	174	348	697
営業利益	4	△8	△3	△0	3	2	△1
営業利益率	2.5	△4.9	△1.1	△0.6	1.9	0.7	△0.2

項目	前年同期対比(上段:増減額 / 下段:増減率)						
	1月~3月	4月~6月	上期	7月~9月	10月~12月	下期	通期
売上高	△5	1	△3	△2	△2	△4	△7
	△2.8	1.1	△0.9	△1.4	△1.3	△1.4	△1.1
営業利益	△7	9	1	1	△0	0	2
	△169.0	—	—	—	△16.2	43.8	—

特殊要因	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃油費単価の影響:【営業利益】△3(9ヶ月)、△4(年間)</li> <li>・社員制度改革に伴う費用増:【営業利益】△0(9ヶ月)、△0(年間)</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大の影響 【売上高】+10(9ヶ月)、+11(年間) 【営業利益】+6(9ヶ月)、+7(年間)</li> <li>・特別手当支給の影響【営業利益】+2(4月~6月、年間)</li> <li>・退職給付数理差異影響:【営業利益】△1(9ヶ月)△1(年間)</li> </ul>	

### 3 業績予想推移

項目	通期業績予想比較		
	今回予想	前回予想	増減額
売上高	689	689	0
営業利益	0	4	△4
	0.1	0.7	—

2021年10月~12月見通し	
<p>新規業務の獲得、各種業務の料金改定を進めるも、昨年のCSD入替作業の反動減により売上高は微減、営業利益は前年並みを見通す。</p>	

# II-E 2021年12月期 セグメント概況

## 7. 重量品建設セグメント

(単位:億円、%)

### 1 単四半期実績

項目	2021/12期 7月~9月 実績	前年同期対比		
		2020/12期	増減額	増減率
売上高	114	119	△4	△3.7
営業利益	14	12	1	15.2
営業利益率	12.7	10.7	—	—

2021年7月~9月概況
風力発電は好調に推移したものの、昨年の大型案件の反動減からプラントメンテナンス、プラント建設等の取扱いは減少し、減収となった。営業利益については、追加工事の獲得もあり増益となった。

### 2 単四半期実績・予想

項目	2021/12期実績・見通し						
	1月~3月	4月~6月	上期	7月~9月	10月~12月	下期予想	通期予想
売上高	95	123	219	114	111	226	445
営業利益	9	16	25	14	12	26	52
営業利益率	10.2	13.1	11.8	12.7	11.0	11.9	11.8

項目	2020/12期 実績						
	1月~3月	4月~6月	上期	7月~9月	10月~12月	下期	通期
売上高	109	131	240	119	112	231	472
営業利益	11	15	26	12	14	26	53
営業利益率	10.3	11.8	11.1	10.7	12.6	11.6	11.4

項目	前年同期対比(上段:増減額 / 下段:増減率)						
	1月~3月	4月~6月	上期	7月~9月	10月~12月	下期	通期
売上高	△13	△7	△21	△4	△1	△5	△27
	△12.7	△6.0	△9.0	△3.7	△1.0	△2.4	△5.8
営業利益	△1	0	△0	1	△2	△0	△0
	△13.4	4.1	△3.3	15.2	△14.0	△0.3	△1.8

特殊要因
<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃油費単価の影響:【営業利益】△0(9ヶ月)、△0(年間)</li> <li>・社員制度改革に伴う費用増:【営業利益】△0(9ヶ月)、△0(年間)</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大の影響:【売上高】+3(9ヶ月)、+7(年間)【営業利益】+0(9ヶ月)、+1(年間)</li> <li>・特別手当支給の影響:【営業利益】+0(4月~6月、年間)</li> <li>・退職給付数理差異影響:【営業利益】△0(9ヶ月)、△0(年間)</li> </ul>

### 3 業績予想推移

項目	通期業績予想比較		
	今回予想	前回予想	増減額
売上高	445	465	△20
営業利益	52	52	0
営業利益率	11.8	11.3	—

2021年10月~12月見通し
風力発電の取扱いは、堅調に推移するものの、プラントメンテナンス・発電所工事は低調に推移することから、売上高、営業利益については前年並みを見通す。

# II-E 2021年12月期 セグメント概況

## 8. 物流サポートセグメント

(単位:億円、%)

**1**  
単四半期実績

項目	2021/12期 7月~9月 実績	前年同期対比		
		2020/12期	増減額	増減率
売上高	830	1,058	△227	△21.5
営業利益	22	26	△3	△13.4
営業利益率	2.7	2.5	—	—

2021年7月~9月概況	
リース事業分社化・収益認識基準の変更により売上高は減収となった。LS事業部の取扱いは第1四半期に引き続き昨年の反動増、石油販売事業は単価上昇により売上高は前年を上回った。営業利益では、リース事業の分社化による影響に加え、トレーディング(貿易の仲介)業務において、損失の発生が見込まれることから引当金の計上を行い減益となった。	

**2**  
単四半期実績・予想

項目	2021/12期実績・見通し						
	1月~3月	4月~6月	上期	7月~9月	10月~12月	下期予想	通期予想
売上高	1,263	797	2,060	830	975	1,806	3,867
営業利益	51	17	69	22	18	41	110
営業利益率	4.1	2.2	3.4	2.7	1.9	2.3	2.9

項目	2020/12期 実績						
	1月~3月	4月~6月	上期	7月~9月	10月~12月	下期	通期
売上高	1,229	1,017	2,247	1,058	1,138	2,197	4,444
営業利益	38	27	66	26	30	56	123
営業利益率	3.1	2.7	2.9	2.5	2.7	2.6	2.8

項目	前年同期対比(上段:増減額 / 下段:増減率)						
	1月~3月	4月~6月	上期	7月~9月	10月~12月	下期	通期
売上高	33	△219	△186	△227	△162	△390	△577
	2.7	△21.6	△8.3	△21.5	△14.3	△17.8	△13.0
営業利益	13	△10	3	△3	△12	△15	△12
	34.2	△36.3	4.7	△13.4	△39.4	△27.5	△10.2

特殊要因
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社員制度改革に伴う費用増:【営業利益】△0(9ヶ月)、△0(年間)</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大の影響: 【売上高】+31(9ヶ月)、+39(年間) 【営業利益】+3(9ヶ月)、+4(年間)</li> <li>・特別手当支給の影響:【営業利益】+1(4月~6月、年間)</li> <li>・収益認識基準の影響:【売上高】△363(9ヶ月)、△586(年間)</li> <li>・日通商事リース事業分社化影響: 【売上高】△374(9ヶ月)、△558(年間)</li> <li>・引当金処理:【営業利益】△2(9ヶ月)、△5(年間)</li> </ul>

**3**  
業績予想推移

項目	通期業績予想比較		
	今回予想	前回予想	増減額
売上高	3,867	3,825	42
営業利益	110	110	0
	2.9	2.9	—

2021年10月~12月見通し	
リース事業分社化、収益認識基準による減収影響により大幅な減収となる。石油部門の単価上昇に加え、LS事業部、物流機器・物流商品は、昨年の新型コロナウイルス感染拡大の反動増となるも、リース部門分社化の影響が大きく、営業利益では減益を見通す。	

## III. 経営計画の取り組み(進捗)

# III. 経営計画の取り組み

## A 日通グループ経営計画2023 KPI <コア事業の成長戦略>

項目 (売上高)	国内*1					海外				
	2021年 1月~9月実績	2020年 1月~9月実績	前同増減率	2021年 1月~12月 見通し	進捗率	2021年 1月~9月実績	2020年 1月~9月実績	前同増減率	2021年 1月~12月 見通し	進捗率
電機・電子産業の取組強化	817億円	670億円	22%	970億円	84%	1,214億円	817億円	49%	1,375億円	88%
自動車産業の取組強化	624億円	430億円	45%	740億円	84%	731億円	466億円	57%	850億円	86%
アパレル産業の取組強化	117億円	117億円	△1%	165億円	71%	530億円	372億円	42%	550億円	96%
医薬品産業の取組強化	117億円	108億円	9%	150億円	78%	165億円	90億円	84%	185億円	89%
半導体関連産業の取組強化	196億円	139億円	41%	215億円	91%	106億円	66億円	61%	110億円	96%

項目	2021年 1月~9月実績	2020年 1月~9月実績	前同増減率	2021年 1月~12月予想	進捗率	2022年3月期 経営計画 中間目標
海上フォワーディングの拡大*2	55万TEU	48万TEU	16%	86.0万TEU	64%	100万TEU
航空フォワーディングの拡大*2	70万t	49万t	44%	86.5万t	81%	120万t

項目 (売上高)	2021年 1月~9月実績	2020年 1月~9月実績	前同増減率	2021年 1月~12月予想	進捗率
非日系顧客の拡大 (GAM-GTA*3)	483億円	291億円	66%	440億円	110%

\*1. 国内実績、KPI数値は、日本通運個別のみ。 \*2. 実績、増減率は四捨五入し記載

\*3. GAMとは、GAM(Global Account Management) のこと。 GTAとは、GTA(Global Target Accounts) のこと。



# III. 経営計画の取り組み(単体)

## B 事業別売上高動向: 2021年度12月期第2四半期(4月~9月)累計 (百万円、%)

	実績	増減額		増減率	
		対2020年度	対2019年度	対2020年度	対2019年度
鉄道事業	32,732	▲ 694	▲ 6,000	▲ 2.1	▲ 15.5
小口貨物事業	20,081	▲ 92	▲ 2,189	▲ 0.5	▲ 9.8
自動車事業	89,251	777	▲ 6,115	0.9	▲ 6.4
海運事業	64,890	22,068	16,048	51.5	32.9
港湾事業	33,990	4,083	▲ 1,085	13.7	▲ 3.1
航空事業	139,399	53,460	50,002	62.2	55.9
倉庫・保管庫事業	71,685	2,181	2,360	3.1	3.4
工場内事業	28,045	2,979	3,680	11.9	15.1
引越・移転事業	24,848	2,868	▲ 6,767	13.0	▲ 21.4
その他	101,262	▲ 1,986	▲ 6,035	▲ 1.9	▲ 5.6
<b>合計</b>	<b>606,187</b>	<b>85,643</b>	<b>43,898</b>	<b>16.5</b>	<b>7.8</b>

### 【国内物流】

・第1四半期では、コロナウイルス影響の反動増が見られたものの、第2四半期以降、回復は進まず力強さに欠ける状況で推移した。対2019年度では、国際物流と、倉庫・保管庫、工場内事業を除きコロナ前を下回る結果となった。

#### 〈鉄道事業〉

・第1四半期までは、前年のコロナウイルス影響から回復基調で推移したが、第2四半期に入り、大雨災害に加え、半導体不足による自動車産業の減産影響を受け、減収となった。

#### 〈小口貨物事業〉

・第1四半期までは回復基調で推移。第2四半期以降、電機・食品関連等の取扱いが減少し減収となった。

#### 〈自動車事業〉

・天候不順による農産物収穫減少の影響を受けたが、鉄鋼・飲料関連の扱いは伸長し増収となった。

#### 〈倉庫・保管庫事業〉

・新規保管の取扱い開始等により保管数量は増加、増収となった。

#### 〈工場内事業〉

・Eコマース関連の新規取扱いに加え、昨年、落ち込んでいた鉄鋼関連の生産活動回復により増収となった。

#### 〈引越・移転事業〉

・一般引越、移転事業は低調に推移。海外引越は、扱い件数は減少したが海上運賃高騰を受けた販売単価の上昇により増収となった。

### 【国際物流】

輸出入ともに取扱いは増加。高水準の運賃単価が継続し増収となった。

# III. 経営計画の取り組み

## B 日本事業の強靱化戦略

### 主な取組項目

#### I. 収益性の改善

- ◆ 日々のコストコントロールによる社有戦力の最大限活用と外注費率の削減を継続推進
  - 2021年12月期第2四半期累計で、売上が増加（対前年+16.5%）する中、外注費率は対前年▲3.2ポイント
  - 日々の戦力活用のための車両マッチングの継続実施等により、社有車の稼働率向上（対前年+2.3ポイント）
  - コストコントロールを維持継続し、取扱数量回復局面での利益増加を図る

#### II. 生産性の向上

- ◆ 倉庫オペレーションの全体的レベルアップ
  - 435拠点を対象にオペレーションのレベルアップを推進
  - 倉庫オペレーションの生産性向上を推進する中核人材育成プログラム “ Logistics boot camp ” を実施
  - オペレーションの省力化、自動化も引き続き推進
  - 2021年10月に「ロジスティクス部」を新設
- ◆ オフィス業務の自動化・簡素化
  - 現場レベルでのRPAによる業務簡素化を推進継続
  - 2021年9月末現在183業務29,731時間を生み出し、さらに作成プログラムの横展開により、加速度的に生み出し時間を拡大
  - 2021年12月までにEラーニングにて666名を教育（予定）、推進者を増強

#### III. 陸海空融合の進化

- ◆ クロスモードセールスの推進
  - 既存顧客への陸・海・空モードの深耕営業により取引を拡大し、トップライン伸長を推進

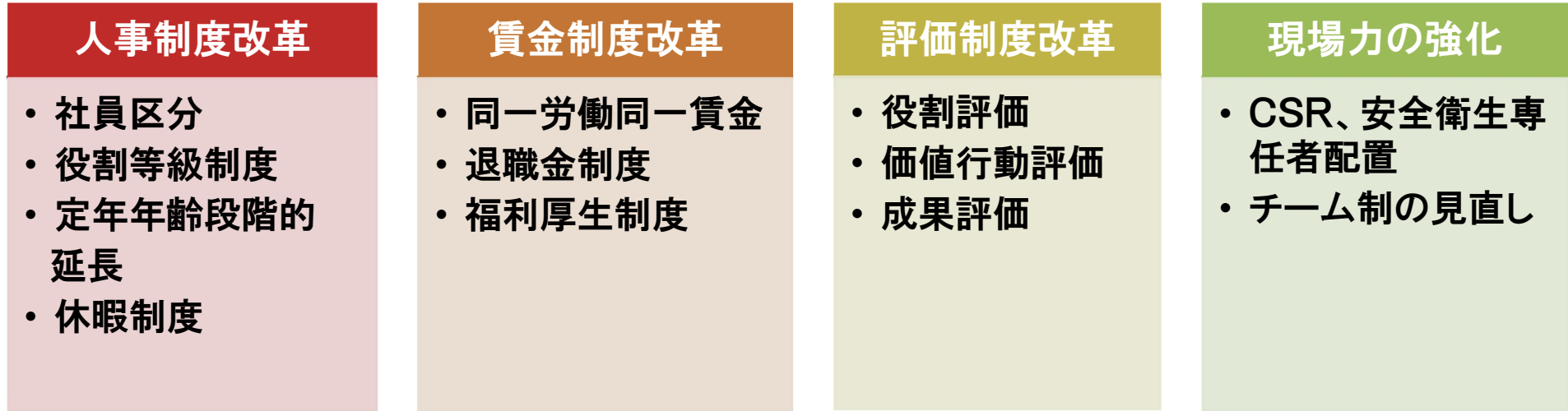
#### IV. ネットワーク商品の強化

- ◆ プロテクトBOXの拡販
  - 2021年4月「プロテクトBOXビジネス」としてリニューアル第2四半期累計実績10,073基（対前年+80.6%）
- ◆ 内航コンテナ、鉄道コンテナの拡販
  - 脱炭素・BCP対応の長距離輸送商品「Sea & Rail 北海道ルート」取扱数量対前年+11.3%
  - 2021年8月より新サービスとして「Sea & Rail 九州ルート」販売開始
- ◆ 引越事業の構造改革
  - 引越コントロールセンターの設置（64課所）
  - リモート見積（リモミ）のフル活用（対前年+481.5%）
  - 下見に占める「リモミ」利用率 対前年+14.3ポイント
- ◆ アロー便事業の強化推進
  - オペレーションの適正化、効率化を推進、積載率向上、外注費削減等を実現し、収益性を改善
- ◆ 新サービス「ワンストップ・ナビ」
  - 当社の多様な輸送手段を「CO<sub>2</sub>排出量」、「リードタイム」、「運賃」など様々な切り口から横断的に比較できるサービス（発地・着地から検索できるアプリ）
  - CO<sub>2</sub>排出量算出方法の妥当性について、物流業界で初めて国際認証企業SGSジャパン(株)による認証を受ける

日本事業強靱化に向けて強力に推進していく

# III. 経営計画の取り組み

## C 間接部門コスト削減進捗状況(2021年9月末時点)について



	2019年度	2020年度	2021年度	2023年度累計
当初計画	100億円増			200億円増
見通し			14億円増 ※9か月見通し	120億円増
実績	48億円増	9.4億円増	8億円増 ※2021年9月末時点	

# III. 経営計画の取り組み

## C 間接部門コスト削減 進捗状況(2021年9月末時点)

日本事業の強靱化	2023年度目標	項目	2019年度実績 (対前同)	2020年度実績 (対前同)	2021年度実績 (4月~6月)	2021年度実績 (7月~9月)	累計	2021年度目標 (4月~12月)
組織の大括り化・管理組織のスリム化	▲45億 (▲500名)	支店間接部門人員の再配置	▲11.0億 (▲124名)	▲14.0億 (▲156名)	—	—	▲33.4億 (▲374名)	—
		本社人員の再配置	—	▲8.2億 (▲91名)	—	▲0.2億 (▲3名)		▲0.7億 (▲8名)
事務プロセスの改革	▲50億	超勤 (事務系社員)	▲11.0億	▲13.2億	+1.9億	+2.7億	▲32.1億	▲4.7億
		人材派遣費 (事務系)	+1.5億	▲10.4億	▲3億	▲0.6億		▲10.8億
合計	▲95億	合計	▲20.5億	▲45.8億	▲1.1億	+1.9億	▲65.5億	▲16.2億

\*「組織の大括り化・管理組織のスリム化」の実績・目標数値は、施策の実施規模・目安額を記載

# III. 経営計画の取り組み

## C RPAの推進について

RPAを導入したねらい

創造的な企画業務や営業活動など、本来実施すべき業務にかかる時間の創出  
⇒ **生産性や品質の向上、コスト削減、新ビジネス創造の可能性**を生み出す。

～ 今後導入を計画しているRPA事案～

★ペーパーレス推進による総務系業務の自動化対応

★AI-OCR x RPA

～ 実施済業務 事例～

★作業計画関係業務

★通運関係業務

★経理関係業務

数値目標

●2021年度末 累計100万時間 時間創出

2021年度 : 28万時間 時間創出  
2021年9月末累計 : 98.3万時間 時間創出

●2020年度末 累計 70万時間 時間創出

2020年度 : 38万時間 時間創出  
2020年度末累計 : 72万時間 時間創出

●2019年度末 40万時間 時間創出

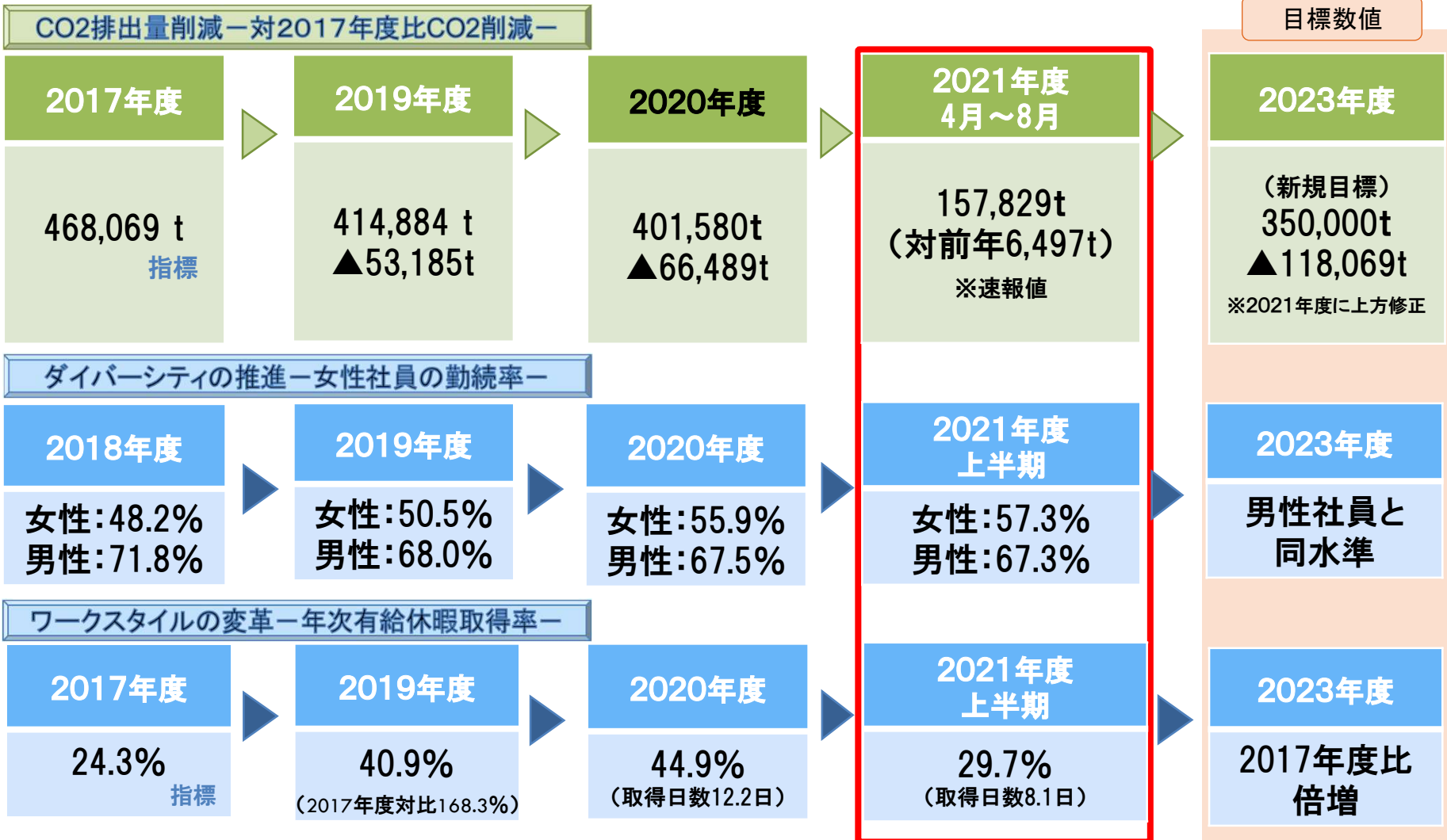
2019年度 : 34万時間 時間創出

RPAを推進するための施策

- ・ 全社員対象の**eラーニング**による啓蒙活動
- ・ 業務を分析・標準化しRPAに対応させる**RPAマスター**育成と各支店への配置
- ・ 海外各ブロック、国内関係会社の**RPA導入支援**

# III. 経営計画の取り組み

## C ESG経営



# III. 経営計画の取り組み

## D ホールディングス体制への移行

- ・新ブランドの導入
- ・NXグループ統合拠点の稼働

NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社の設立

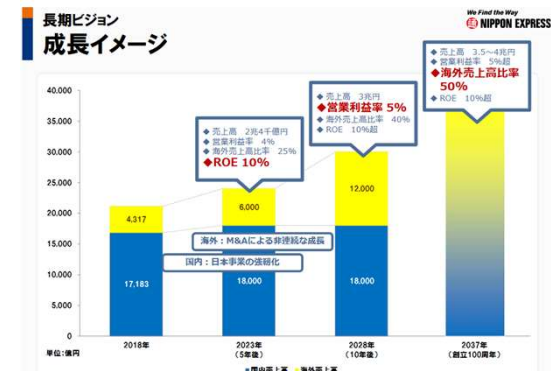


## E 非連続な成長戦略

- ・M&Aによるグローバルメガフォワードへの成長
- ・「グローバルな経営基盤」「非日系のグローバル顧客基盤」「フォーディング事業基盤」の構築

## F 持続的成長と企業価値向上のためのESG経営の確立

- ・サステナビリティ経営の推進
- ・デジタルトランスフォーメーション(DX)

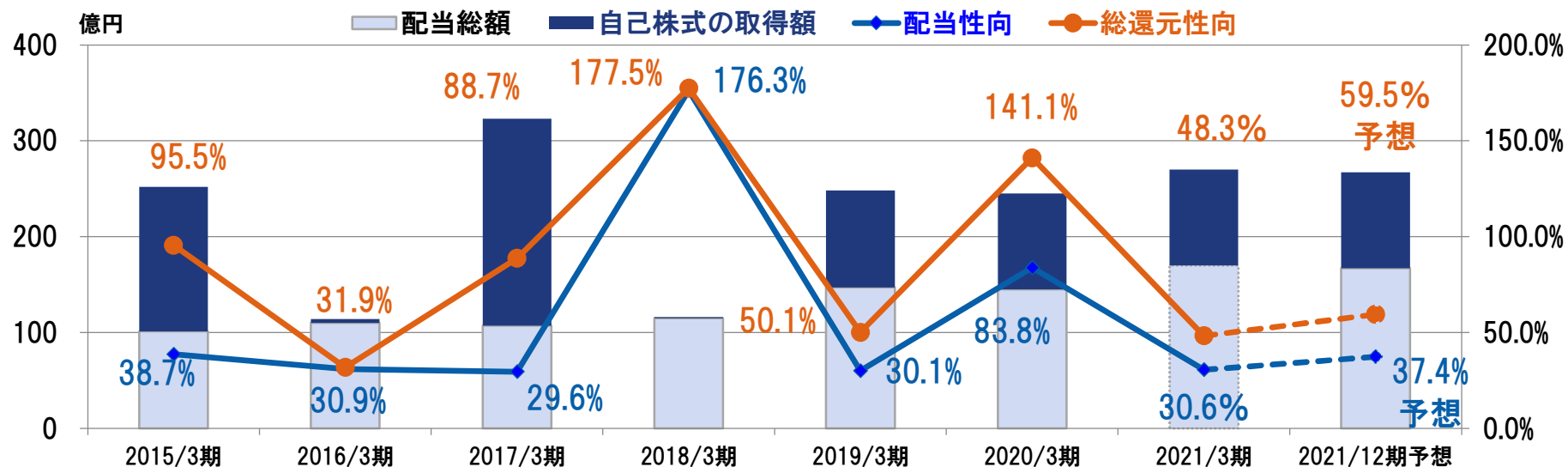


# IV. 株主還元

## A 資本政策

- ROE 10%
- 配当性向 30%以上
- 総還元性向 50%以上(2019~2023年度累計)
- 自己資本比率 35%程度

## B 各種実績推移



1株当たり 配当額 (年間)	10	11	11	120*	155	155	185	185 (予想)
ROE	5.1	6.8	6.9	1.2	9.2	3.2	10.0	7.5(予想)

※ 2017年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株に併合いたしましたので、  
2018年3月期以降の配当額については、当該株式併合を考慮した金額で記載しております。





本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。

また、本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告無しに変更されることがあります。

万一、この情報に基づいて、こうむったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。